

平成 27 年 12 月 7 日

『情報発信の在り方等に関する検討会』の発足

自動車リサイクル制度施行後10年に伴う見直しの議論を受けて、JARC は自動車ユーザーや自治体、さらには関係事業者への情報発信等に係る様々な課題を検討し、発展的取組みに繋げるため、学識経験者ならびに関係者による検討会を発足した。

1. 背景・経緯

国内において発生する年間約330万台の使用済自動車のリサイクル率は、自動車リサイクル制度の下で自動車ユーザー、自動車製造業者、関連事業者等が、国内実情に配慮し循環型社会の構築を目標に取組みを進めた結果、車両重量ベースで約99%のリサイクル率を達成している。また、制度制定の目的であった不法投棄等の未然防止・シュレッダーダスト等の最終処分量の極小化が概ね図られている現状を踏まえ、国が設置する合同会議(注1)における制度施行後10年に伴う見直しの議論においては、自動車における3R(注2)の推進・質の向上、自動車リサイクル制度の安定的かつ効率的な運用、そして今後の制度のあるべき姿等の論点を中心に議論が行われた。

今年9月開催の合同会議で取りまとめられた報告書(注3)においては、自動車ユーザーへの情報発信等の取組みについて多くの課題が示されており、これを受けJARCは国の要請に基づき検討会を発足することとした。

今後、これらの課題に対応すべく、自動車ユーザー、自動車製造業者等、関係事業者、自治体、国、JARCに代表される関係主体で連携して自動車リサイクル制度における役割を改めて確認すると共に、情報発信等の在り方について検討を行い、自動車リサイクル制度の更なる発展に向け、取組みを進めていく。

2. メンバー構成(敬称略)

永田勝也(早稲田大学名誉教授)【座長】

織朱實(上智大学大学院地球環境学研究科教授)

大石美奈子(公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会理事・環境委員長)

一般社団法人日本自動車連盟

一般社団法人日本自動車工業会

日本自動車輸入組合

一般社団法人日本自動車販売協会連合会

一般社団法人全国軽自動車協会連合会

一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会

一般社団法人日本ELVリサイクル機構

自治体関連団体

3. 主な検討テーマ

- ①自動車製造業者等・解体業者におけるユーザーへの情報発信
 - ・環境配慮設計・再生資源利用の進んだ自動車へのユーザー選択の促進
 - ・リユース・リビルト部品のユーザー選択の促進 等
- ②引取業者におけるユーザーへの情報発信
 - ・引取業者による情報提供の在り方、国による伝達及び引取業者による対応
 - ・使用済自動車の価値等に係るユーザーへの情報発信 等
- ③JARC情報発信機能の一層の発揮
 - ・システム改善ニーズの把握、JARCによるユーザーへの情報発信
 - ・JARCが管理する使用済自動車の再資源化状況等データの活用 等

4. 今後の予定

今後数回に亘り各テーマを検討した後、平成28年7月を目処に取りまとめを行う。
取りまとめた内容は平成28年度開催の合同会議に報告・公表する。
※検討会における配付資料、議事概要については、原則公開する。

(注1) 産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 自動車リサイクルワーキンググループ、中央環境審議会 循環型社会部会 自動車リサイクル専門委員会

(注2) 3Rとは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の活動

(注3) 『自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書』の詳細については、経済産業省のWebページを参照

http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/sangyougjutsu/haiki_recycle/car_wg/report_01.html